

山椒は小粒でも...

Vol.41

市民の命を守る



4年前の造成工事から始まり、念願の新しい消防庁舎が、2月16日(火)に竣工式を迎えます。まちなかから見ると、鳥羽高校の上、鳥羽東中学校の西側にその姿があります。住宅地から見て高台にデンと座る姿は、見た目にも市民に安心感を与えそうです。旧庁舎は国道沿いではあるものの海抜の低い場所であったため、津波や地盤の液化化を考えると、いざという時の出勤に心配な面がありました。

今回の移転では海抜38mへ、また、鳥羽方面への出勤はもちろん、加茂方面にも速やかに出勤できるよう新しい動線もつくりました。高度な機能を備えた通信指令装置のほか、鳥羽ならではの海難事故に対応する装備類、女性隊員の誕生に応えられる施設整備を行いました。写真でもおわかりいただけると思いますが、これを機にヘリポートも設置し、ドクターヘリや防災ヘリの



新型コロナウイルスワクチンの接種が始まります。

現時点では以下の予定となっています。

①国の予定では、医療従事者などは2月下旬から、65歳以上の高齢者は3月下旬から、その後基礎疾患をお持ちのかたと高齢者施設などに従事するかたに続き、一

般のかたについてもワクチンの供給量などを踏まえ順次接種すると言われている。

②市から接種券(クーポン券)を郵送します。3月中旬ごろにまずは65歳以上の高齢者に郵送します。

③接種券を使い、全員無料で受けられます(ワクチン接種を騙る詐欺には十分注意してください)。

④ワクチンは間隔を3〜4週間おいて、2回接種します(ワクチンの種類によって間隔は異なります)。

⑤接種会場は今のところ未定です。

⑥接種時期に違いはありますが、必ず全員受けることができますのでご安心ください。

⑦ワクチン接種は最重点事業であることから、市ではワクチン接種の対策チームを編成し、接種を受けていただける体制をつくりました。

ワクチンの接種については、くわしい内容が決まりしだい順次お知らせしていきます。

新消防庁舎の件も含め、もっとも状況が好転する大切な事業になります。市民の命を守り、まちの明るさを取り戻すため、ご協力をお願いします。

友だち

「友だちとは、気付いたらそばにいてくれて、味方になってくれる存在だ」というようなことを耳にしたことがあります。うれしい気持ちや悲しい気持ちを自分のことのように分かち合い、何かと親身になって相談に乗ってくれる大切な存在です。

このような存在は、作ろうと思っただけでできるものではありません。

故郷の幼なじみや旧友、会社の同僚、趣味のサークル活動の仲間など、どこでどのように出会うかは決まっておらず、あなた自身を形成してきた社会や生活環境の中でいつの間にか育まれ、強い絆で結ばれていきます。

そして、この絆は、住む場所が遠く離れてしまったとしても



Vol.201
市民課人権・市民交流係
☎ 1126

も、また長い間連絡が途絶えてしまったとしても、無くなってしまうことはなく、私たちにとってかけがえのない一生の財産として残っていくものだと思います。

世界中で猛威を振るい、今なおその勢いが収まることのない新型コロナウイルス感染症による影響は、県内外の移動の制限や、外食、大人数の会食の自粛ムードの高まりなどから友だちとの交流にも変化を及ぼしているかもしれません。

しかし、前述したように、一度できた友だちとの強い絆は、そう簡単に途切れることはありません。直接会うことが困難になったとしても、今はSNSやメール、電話などで連絡を取ることができるほか、ビデオ会議ツールを使用すれば、遠く離れた友だちも、まるで目の前にいるかのように話をすることが可能です。

毎年2月22日は「世界友情の日、国際友愛の日」です。これを機会に、自宅にいなからSNSで連絡を取るなど、交流を深めるきっかけ作りをしてみたいかがでしょうか。思い出話に花が咲くかもしれませんね。